

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 27年												平成28年							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~6日	3月 ~13日	3月 ~20日	3月 ~27日	4月 ~3日	4月 ~10日
カンピロバクター	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	72	56	9	25	34	43	43 (44)	55
病原性大腸菌	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	140	146	34	38	42	49	39 (43)	40
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	12	4	2	0	0	0	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	23	20	5	4	15	1	2	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	11	11	3	7	4	2	5 (7)	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	4	19	7	9	8	5	7	8
アデノウイルス	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	20	20	1	2	2	0	3	3

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第14週(4月4日~4月10日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3			1		1	1	
三類	0	発生なし	0							
四類	3	デング熱	1					1		
		レジオネラ症	2					2		
五類全数	4	ウイルス性肝炎(E型, A型除く)	1					1		
		急性脳炎	1						1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2					2		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第14週 4/4～4/10)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

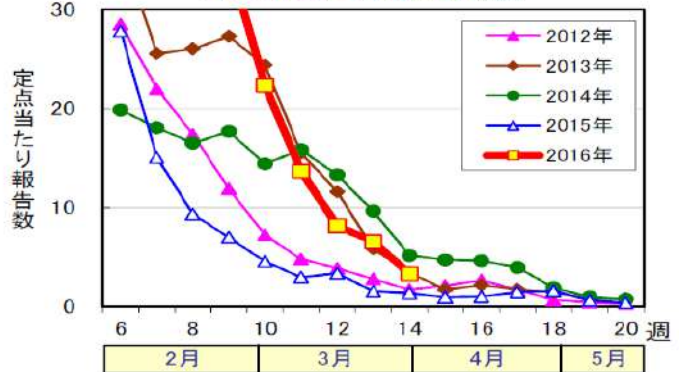
1. インフルエンザ

定点当たり3.27人と大きく減少しました。
しかし、例年春休み後に再び増加し、小規模な流行が5月頃まで続く傾向がみられるため、引き続き感染予防を心がけましょう。

2. 感染性胃腸炎

小児科定点からの感染性胃腸炎の報告数は定点当たり8.63人と、前週と比べてやや減少しました。
また、ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、基幹定点から21人の報告がありました。例年3月から5月頃はロタウイルスを原因とする感染性胃腸炎が多くなる傾向があり、注意が必要です。
なお、感染性胃腸炎の集団発生が第14週に1件報告されています。集団生活の場では、手洗いの励行や便・吐物の適切な処理などの感染予防対策を特に徹底することが重要です。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	増減										
												急増減	増減	微増減								
フィルン	インフルエンザ	121	3.27	3.56	↓	小児科	流行性耳下腺炎	21	0.88	0.42	◇	急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減								
小児科	咽頭結膜熱	3	0.13	0.17	◇	眼科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.04	◇	増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	2.04	1.41	◇		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	◇	微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減								
	感染性胃腸炎	207	8.63	8.38	◇	基幹	流行性角結膜炎	3	0.38	0.58	◇	横ばい	↔	ほとんど増減なし								
	水痘	18	0.75	1.15	↑		細菌性髄膜炎	-	-	0.06	◇	報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。										
	手足口病	8	0.33	0.13	◇		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	◇	<table border="1"> <tr><td>インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)</td><td>37</td></tr> <tr><td>小児科定点数</td><td>24</td></tr> <tr><td>眼科定点数</td><td>8</td></tr> <tr><td>基幹定点数</td><td>7</td></tr> </table>			インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37	小児科定点数	24	眼科定点数	8	基幹定点数	7
	インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37																				
	小児科定点数	24																				
	眼科定点数	8																				
	基幹定点数	7																				
	伝染性紅斑	22	0.92	0.18	◇		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.14	◇	(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)										
突発性発しん	11	0.46	0.52	◇	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	◇													
百日咳	-	-	0.07	◇	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	21	3.00	◇	◇													
ヘルパンギーナ	2	0.08	0.05	◇																		

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	46	男性(20歳代)・推定感染地域: 国外
4	デング熱	1	3	男性(30歳代)・推定感染地域: 国外
4	レジオネラ症	2	3	男性(50歳代)・1人、男性(90歳代)・1人
5	ウイルス性肝炎	1	2	男性(30歳代)・B型
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	2	男性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.6) 上気道炎	5	男	2016/03/16	咽頭拭い液	B型インフルエンザウイルス
感染性胃腸炎	発熱(38.8) 下痢	0	女	2016/03/03	糞便	A群ロタウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.5) 気管支炎	1	男	2016/03/01	鼻汁	ライノウイルス
その他の消化器疾患	下痢 腸重積	2	男	2016/01/25	糞便	A群ロタウイルス
その他の消化器疾患	発熱(39.0) 嘔吐 下痢 髄膜炎 熱性痙攣	1	男	2016/02/06	糞便	A群ロタウイルス